

平成24年度 大阪府民間団体自殺対策強化事業

気づき、つなぎ、見守るための ネットワークのあり方を考える研修会

平成24年8月、「自殺総合対策大綱」が見直され、地域における実践的な取組を中心とする自殺対策への転換、行政・民間団体等の相互の連携・協力の推進等が掲げられることとなりました。自殺を防ぐためには、精神保健的なアプローチだけでなく、地域の多職種による複合的な支援が不可欠です。

本研修会では、自殺予防における精神保健的支援と社会的支援の連携の発展に向け、「気づき、つなぎ、見守る」ためのネットワークのあり方について考えます。

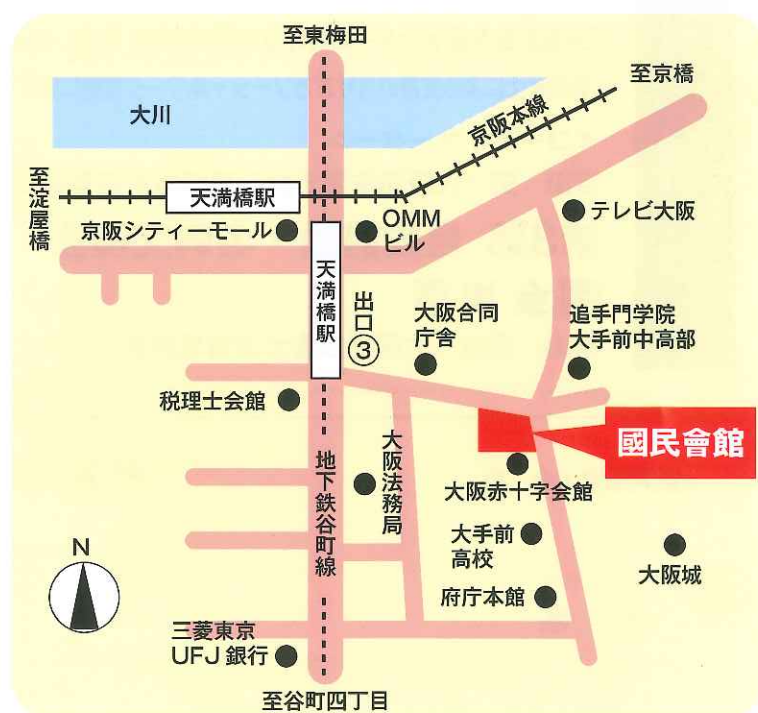
日時 平成25年2月24日(日)
13時～17時(開場12時30分)

場所 国民會館 大ホール

大阪市中央区大手前二丁目1番2号
国民會館住友生命ビル12階
地下鉄谷町線「天満橋」駅
3号出口から徒歩約3分

参加申込 入場無料(定員100名)

空席があれば当日参加も可能ですが、できれば事前申込みをお願いいたします。裏面申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。満席につきご参加いただけない場合のみ、別途ご連絡いたします。



<主催> 大阪司法書士会

<後援> 大阪府、大阪市、堺市(予定)

申込・お問い合わせ先 **大阪司法書士会**

TEL: 06-6943-6099 FAX: 06-6941-7767
(お問い合わせは平日午前10時から午後4時まで)
URL: <http://www.osaka-shiho.or.jp/>



気づき、つなぎ、見守るための ネットワークのあり方を考える研修会

日時

平成 25 年 2 月 24 日 (日)

13 時～ 17 時 (開場 12 時 30 分)

場所

国民會館 大ホール

大阪市中央区大手前二丁目 1 番 2 号 国民會館住友生命ビル 12 階

内容

開会挨拶

山内 鉄夫 (大阪司法書士会 会長)

第1部 基調講演 「絆プロジェクトー浜松市における地域連携の試み」

<講師>

大場 義貴氏 (聖隷クリストファー大学 社会福祉学部准教授)

第2部 シンポジウム 「自殺対策における社会資源の活用と連携のあり方」

<シンポジスト>

「生活困窮者支援における自殺予防と地域連携の可能性」谷口 伊三美氏 (東淀川区保健福祉センター)

「救命救急センターにおける自殺未遂者支援」丹羽 篤氏 (近畿大学医学部附属病院精神神経科学教室・臨床心理士)

「地域活動支援センターにおける支援の実際」安藤 純子氏 (社会福祉法人ふれあい共生会 地域活動支援センターもくれん)

「司法書士による支援のあり方とソーシャルワーク実践に向けての展望」木下 浩氏 (日本司法書士会連合会自死問題対策委員会副委員長)

<コーディネーター>

吉田 史 (大阪司法書士会自死問題対策委員会委員長)

第3部 自由討論・名刺交換会

閉会挨拶

高山 完圭 (大阪司法書士会常任理事)

※研修会の内容は予告なく変更することがあります。

大阪司法書士会 宛

参加申込書

ふりがな
氏 名

T E L

F A X

所 属

※記載していただいた個人情報は、参加確認の目的以外には使用しません。

申込方法

上記参加申込書をご記入の上、FAX (06-6941-7767) 送信してください。